

# 2024年度 九州知的財産活用推進協議会 開催概要

- 九州知的財産活用推進協議会は九州地域の知的財産の普及啓発、活用促進のため2014年7月に発足。
- 2024年度は熊本市にて開催。「国内外で優位性を持続化するための競争戦略とは」をテーマに講師2名を招聘し、ご講演いただきました。また、企業経営者、国・地方自治体、大学、支援機関等の参加のもと、知財関連の施策・取組について情報共有を行うとともに知財の課題や今後の方向性等について議論を行いました。

● **日時**：2024年11月18日（月）13時30分～16時30分

● **会場**：ザ・ニューホテル熊本 3階 鳳凰の間（熊本県熊本市西区春日1丁目13-1）  
（オンライン併催）

● **出席者**：

議長 田中 稔彦 委員（金剛株式会社 代表取締役社長）

委員 株式会社安川電機、株式会社タカギ、株式会社中山ホールディングス、協和機電工業株式会社、株式会社トライテック、株式会社SUNAO製菓、株式会社エルム、一般社団法人九州経済連合会、九州商工会議所連合会、弁護士知財ネット九州・沖縄地域会、日本弁理士会九州会、国立大学法人九州工業大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部、独立行政法人工業所有権情報・研修館知財活用支援センター、福岡県商工部、佐賀県産業労働部、長崎県産業労働部、熊本県商工労働部、大分県商工観光労働部、宮崎県商工観光労働部、鹿児島県商工労働水産部、九州農政局経営・事業支援部、九州経済産業局地域経済部



田中 稔彦 議長



開会挨拶  
九州経済産業局  
地域経済部長 楠木 真次



協議会開催の様子

# 2024年度 九州知的財産活用推進協議会 開催概要

## 【1. 2024年度トピック「国内外で優位性を持続化するための競争戦略とは」】

### ■【講演】次の10年も継続して成長するための「海外戦略」と「無形資産の活用」



これからの10年も継続して成長するために、「知的財産権」やブランド、デザイン、技術力、ノウハウなどの「無形資産」の保護と活用を図る知財戦略と、正しい海外展開戦略を組み合わせる取り組みの必要性について解説していただくとともに、事業価値を高めたビジネスモデルの事例を交えてご講演いただきました。

講演者：明倫国際法律事務所 代表 弁護士・弁理士 田中 雅敏 氏

### ■【講演】知財を活用した付加価値の向上や競争優位性を築くための取り組みについて



液晶調光フィルムの開発・製造の完全内製化により、徹底した営業秘密管理と知財戦略による知財経営の定着を図り、自社にしかない技術力を強みに、取引において優位性を示して国内外の市場で堅実に成長を果たしている同社の取り組みについてご講演いただきました。

講演者：九州ナノテック光学株式会社 代表取締役 馬場 潤一 氏

## 【2. 知的財産関連施策の動向について】

### ■ 知財行政を巡る最近の動向について



第3次地域知財活性化行動計画の方針に基づいた地域の支援ネットワーク（4者連携）や、福島県及び石川県との連携協定による地方創生に向けた取り組み、知財エコシステム構築に向けた知財経営支援モデル地域創出事業等についてご紹介いただきました。

講演者：特許庁 総務部普及支援課長 加藤 和昭

### ■ 大分県知的財産総合戦略の改定について



大分県長期総合計画の基本方針の柱である「安心」「元気」「未来創造」をベースに令和6年3月に改定された「大分県知的財産総合戦略」について、知的財産を巡る課題に対応した知財創造の3つの戦略とロードマップに基づいた具体的施策の推進状況についてご紹介いただきました。

講演者：大分県 商工観光労働部新産業振興室長 市原 淳介 氏

## 【3. 議論・意見交換】



九州知的財産活用推進協議会に参加の国・県・大学・日本弁理士会九州会・弁護士知財ネット九州・沖縄地域会・INPIT・その他支援機関等17機関から、各機関における知財関連事業の取組についてご紹介いただきました。

